

3. 流域の社会状況

3.1 関係市町

揖保川流域は、姫路市、たつの市、宍粟市、太子町、神河町の兵庫県の3市2町にまたがっている。関係市町を以下に示す。

また、揖保川流域において合併特例法により市町村合併が実施されているため、旧市町名および合併年月日を示す。

表 - 3.1 関係市町

新市名	旧市町名	合併年月日
姫路市	姫路市，安富町，(家島町，夢前町，香寺町：流域外)	平成 18 年 3 月 27 日
たつの市	龍野市，新宮町，揖保川町，御津町	平成 17 年 10 月 1 日
宍粟市	山崎町，波賀町，一宮町， (千種町：流域外)	平成 17 年 4 月 1 日
太子町	-	-
神河町	大河内町，(神崎町：流域外)	平成 17 年 11 月 7 日

注意：太子町は周辺市町との合併を実施していない

3.2 土地利用

揖保川流域はそのほとんどが山地で 84%を占め、農地が 11%、宅地等市街地が 5%となっている。宅地等市街地のほとんどが中・下流部に集中している。

土地利用の動向は、中国縦貫道開通後内陸工業化が進み、たつの市新宮周辺には西播磨テクノポリスも整備され産業が進展しており、今後とも周辺地域における宅地化・市街化が予想される。

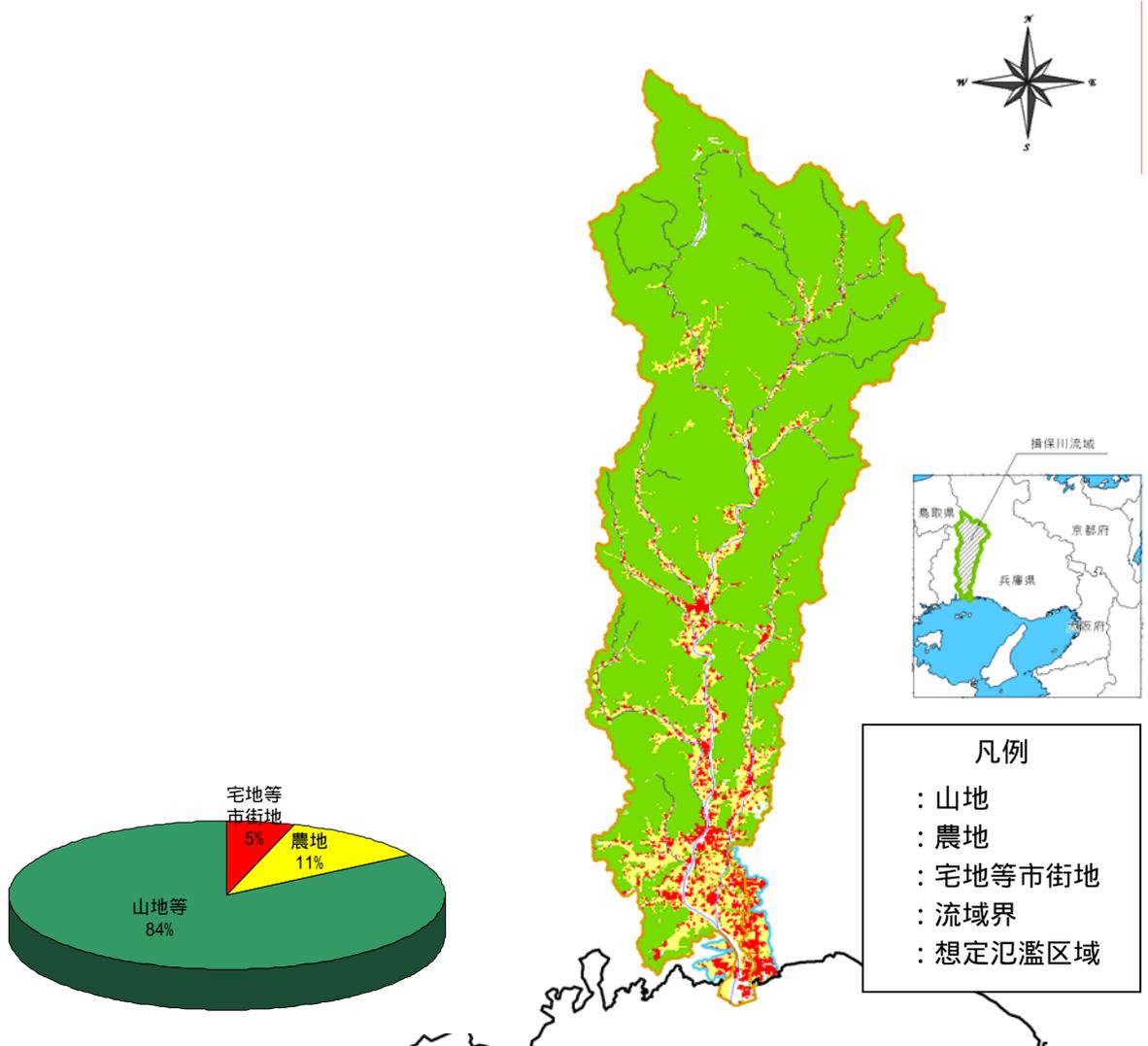


表 - 3.2 流域関連市町土地利用状況 (H16 年) 単位: km²

市町名	田	畑	宅地	池沼	山林	牧場原野	雑種地	その他	計
姫路市	37.8	6.1	66.3	0.3	79.0	1.3	13.9	130.1	334.7
たつの市	28.7	5.6	16.9	0.0	100.3	2.2	3.5	46.1	203.3
宍粟市	19.4	4.0	9.2	0.0	231.9	2.2	1.9	285.4	554.0
太子町	5.9	0.8	4.0	0.2	4.4	0.1	1.1	6.3	22.8
神河町	3.2	0.5	1.1	0.7	27.1	2.8	0.9	60.9	97.2
計	95.0	17.0	97.5	1.2	442.6	8.5	21.3	528.9	1212.1
計(姫路市除く)	57.3	10.9	31.2	0.9	363.6	7.2	7.4	398.8	877.3
比率(%)	7.8	1.4	8.0	0.1	36.5	0.7	1.8	43.6	100.0
姫路市除く比率(%)	6.5	1.2	3.6	0.1	41.4	0.8	0.8	45.5	100.0

出典: 兵庫県統計書 平成 16 年

注意: 各市町の集計は、姫路市(旧姫路市, 安富町), たつの市(旧龍野市, 新宮町, 揖保川町, 御津町), 宍粟市(旧山崎町, 一宮町, 波賀町), 神河町(旧大河内町)の合計値である

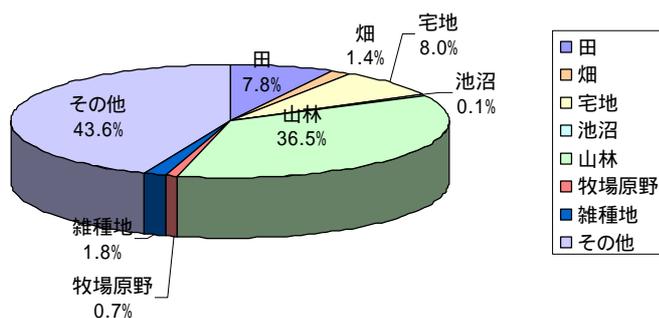


図 - 3.2 揖保川流域土地利用状況

3.3 人口

昭和50年に589,205人であった流域関連市町の人口は、その後微増を続け平成16年には641,091人(昭和50年の1.08倍)となり、兵庫県の約12%前後(近年20ヶ年変化なし)を占める流域である。姫路市、太子

町の増加が著しく、下流の播磨臨海工業地帯、上流部たつの市新宮周辺の西播磨テクノポリスの立地により、さらに増加の傾向が予想される。

表 - 3.3 流域内人口等

流域内	人口(人)	145,743
	人口密度(人/km ²)	183
想定氾濫区域内	人口(人)	115,676
	人口密度(人/km ²)	1,706

出典:第7回 河川現況調査

表 - 3.4 流域関連市町人口の変化 単位:人

市町名	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成16年
姫路市	436,100	446,256	452,917	454,360	470,986	478,309	481,011
たつの市	78,365	81,167	82,934	83,045	83,431	83,207	82,206
宍粟市	43,990	44,513	44,519	44,098	43,280	41,431	40,108
太子町	24,750	26,686	29,663	30,477	31,634	31,960	32,588
神河町	6,000	5,826	5,789	6,076	5,397	5,239	5,178
計	589,205	604,448	615,822	618,056	634,728	640,146	641,091
対S50比	1.00	1.02	1.04	1.04	1.07	1.08	1.08
対兵庫県の割合(%)	11.8	11.8	11.7	11.4	11.8	11.5	11.5
兵庫県全体	4,992,130	5,114,892	5,278,050	5,405,040	5,401,877	5,550,574	5,591,881

出典:兵庫県統計書

平成16年は推定人口

各市町の集計は、姫路市(旧姫路市,安富町),たつの市(旧龍野市,新宮町,揖保川町,御津町),宍粟市(旧山崎町,一宮町,波賀町),神河町(旧大河内町)の合計値である

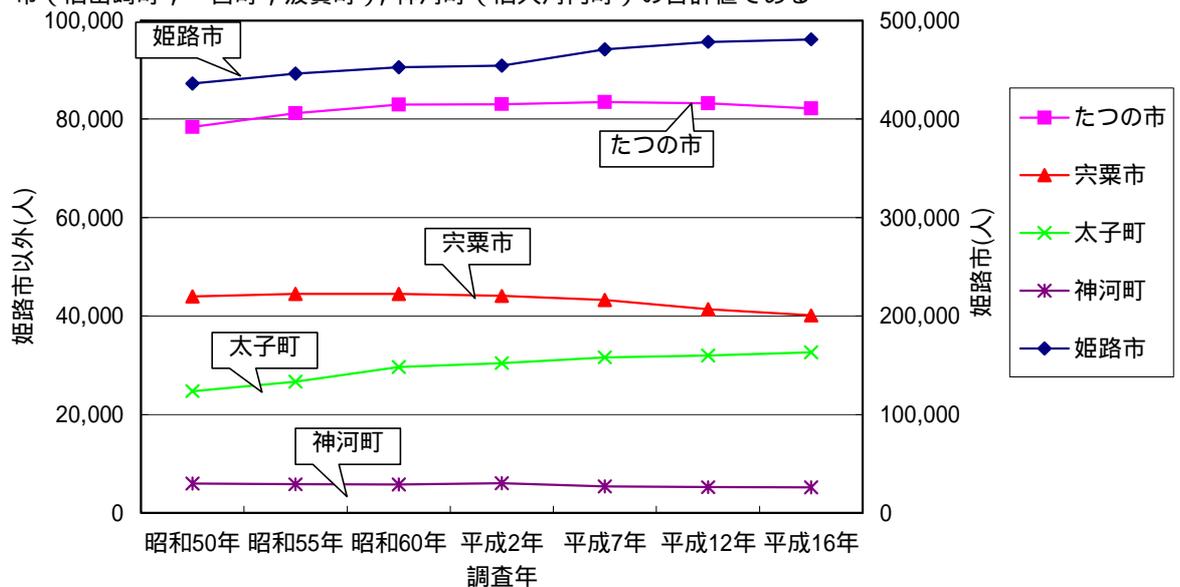


図 - 3.3 流域関連市町人口変遷図

3.4 産業

流域内の産業として臨海部は播磨工業地帯の一郭として鉄鋼、化学などの重化学工業が集積しているほか、沿川ではうすくち醤油、手延べ素麺、播州皮革などの揖保川の清流や伏流水に依存した地場産業が現在でも地域に息づいており、全国的にも名を馳せている。

中国縦貫道の開通後、内陸工業化が進み、たつの市新宮周辺には西播磨テクノポリスも整備され、産業が進展している一方、下流部の工業地域、中核都市である姫路市に近いこともあり、通勤圏として住宅都市化も進み人口は増加傾向となっている。

播磨工業地帯は、戦前から鉄鋼を中心とする重工業が発達し、戦後も化学、電気をはじめとする大規模工場が立ちならび、これを取り巻く形で市街化が進み、人口も増加している。

平成 16 年の関係市町村全体の製造品出荷額は 24,072 億円で兵庫県全体(123,449 億円)の 19%を占める重要な地域となっている。

表 - 3.6(1) 農業生産額 (百万円)

市 町 名	生産額
姫 路 市	5,577
た つ の 市	4,549
宍 粟 市	2,336
太 子 町	554
神 河 町	222
計	13,238

表 - 3.6(2) 流域関連市町従業者数 (人)

市 町 名	一次産業	二次産業	三次産業	計
姫 路 市	2,192	77,960	138,738	218,890
た つ の 市	1,411	16,957	20,460	38,828
宍 粟 市	992	8,792	10,378	20,162
太 子 町	300	7,021	8,392	15,713
神 河 町	68	974	1,351	2,393
計	4,963	111,704	179,319	295,986
	2(%)	38(%)	61(%)	100(%)

出典：兵庫県統計書（平成 16 年）

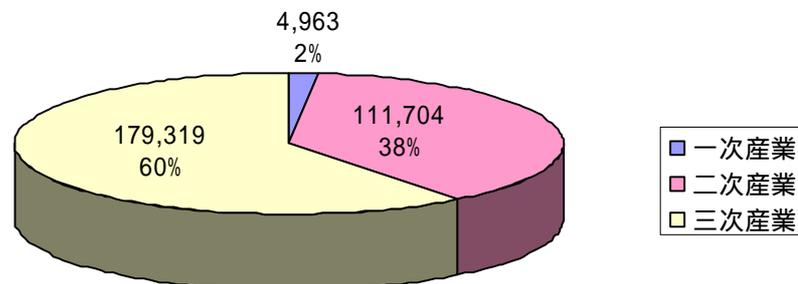


図 - 3.4 流域関連市町従業者割合

表 - 3.7 流域関連市町製造品出荷額等の変化 (億円)

市 町 名	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成16年
姫 路 市	9,669	15,665	17,278	19,548	18,509	18,161	18,707
た つ の 市	1,410	2,100	2,477	3,018	3,306	3,130	3,135
宍 粟 市	332	526	575	871	910	840	726
太 子 町	489	639	1,141	1,380	1,813	2,180	1,486
神 河 町	18	22	27	28	33	29	19
計	11,918	18,952	21,498	24,845	24,571	24,340	24,072
対S50比	1.00	1.59	1.80	2.08	2.06	2.04	2.02
対兵庫県全体に占める割合(%)	16	169	17	16	17	17	19
兵庫県全体	75,031	11,246	130,226	154,164	144,119	140,699	123,449

出典：兵庫県統計書

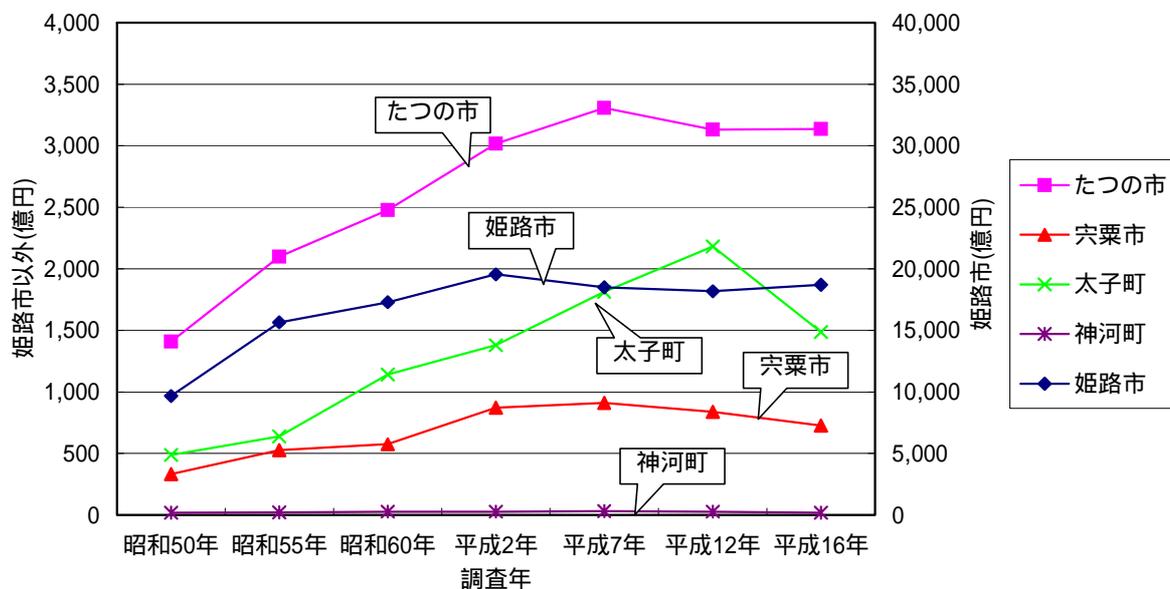


図 - 3.5 流域関連市町出荷額変遷図

3.5 将来構想

県域の方向性としては、兵庫県総合計画(2001年計画)において西播磨地域として、姫路地区、揖龍地区の整備方向が示されている。

[姫路地区]

- ・ 広く西播磨地域における広域的な産業・文化の拠点として、また、西播磨テクノポリスの母都市として、中枢機能を強化すると共に、魅力ある都市づくりを進める。
- ・ 市街地の高度利用を図るため、駅周辺等の市街地再開発、各地区の土地区画整理などを計画的、段階的に進める。

[揖龍地区]

- ・ 優れた住環境をもつ田園文化都市として整備していくと共に、うすくち醤油、手延べ素麺、播州皮革などの地場産業の新たな展開を図る。
- ・ 中心都市であるたつの市龍野においては、商業業務、文化等の高次都市機能を充実していくと共に、龍野城、川西地区の町並みなど、優れた歴史的環境の保全とその演出を図り、文化の香り高い都市として整備する。
- ・ たつの市御津町を中心とした瀬戸内海国立公園については、自然海岸の保全、人口養浜等を行うと共に、マリーナ、保養施設などの整備を進め、西播磨、東播磨、淡路を一体とした海洋レクリエーションゾーンの形成を図る。

3.6 交通

流域内の交通としては、山陽新幹線、JR 山陽本線、JR 姫新線などの鉄道や、山陽自動車道、中国縦貫自動車道、国道 2 号、250 号、太子竜野バイパスなどの道路が揖保川を横断しているとともに、姫路市と鳥取市を結ぶ国道 29 号が揖保川沿いに縦断している。また、河口部の姫路港は特定重要港湾に指定されており、本流域は陸海交通の要衝となっている。

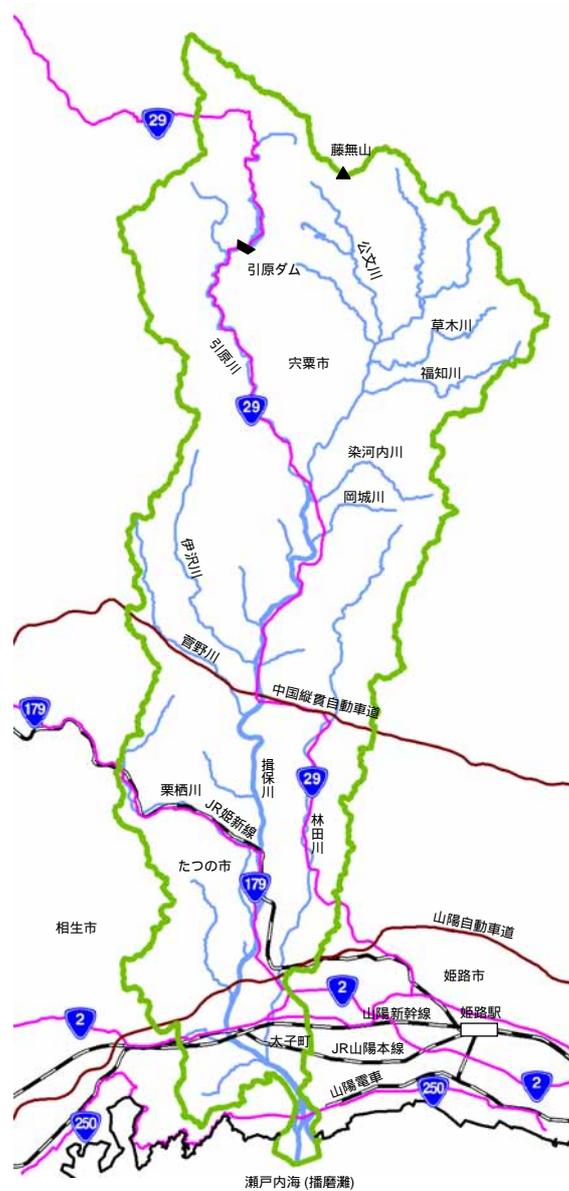


図 - 3.6 揖保川流域における交通網